



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 株式会社ジェイテック
代表者名 代表取締役社長 藤本 彰
(JASDAQ コード 2479)
問合せ先 経営企画室長 村田 竜三
(TEL 03-6228-6463)

減損損失の計上及び通期連結業績予想数値と実績値との差異、
並びに個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 4 四半期の連結決算において減損損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 9 日に公表した平成 30 年 3 月期の通期連結業績予想並びに個別業績の前期実績と、本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループは、連結子会社である株式会社ジェイテックビジネスサポート事業譲受時に発生したのれんについて、将来の事業計画に基づいて回収可能性を慎重に検討した結果、残存価額全額 27 百万円を減損損失（特別損失）として計上することといたしました。

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,428	百万円 102	百万円 101	百万円 71	8 円 29 銭
当期実績値 (B)	3,054	77	76	33	3 円 93 銭
増減額 (B-A)	△373	△24	△24	△37	—
増減率 (%)	△10.9	△24.1	△24.5	△52.6	—
[ご参考]前期実績 (平成 29 年 3 月期)	3,330	123	123	89	10 円 47 銭

(差異の理由)

前期に引き続き、業務効率化による販売費及び一般管理費の削減に努め、その効果はあったものの、技術系人材の獲得競争が激化している中、計画通りのテクノロジスト確保が厳しかったことによる売上高、売上総利益の減少が大きかったこと、及び連結子会社に係るのれんの減損損失を計上したこととあります。

※平成 30 年 3 月期の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成 30 年 3 月期 決算短信」をご参照ください。

3. 平成 30 年 3 月期個別業績と前期実績値との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前期実績値 (A) (平成 29 年 3 月期)	百万円 2,156	百万円 103	百万円 150	百万円 113	13 円 27 銭
当期実績値 (B)	1,955	18	51	26	3 円 06 銭
増減額 (B-A)	△200	△84	△98	△87	—
増減率 (%)	△9.3	△82.3	△65.5	△76.9	—

(差異の理由)

2. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想と実績値との差異の理由と同様に、前期に引き続き、業務効率化による販売費及び一般管理費の削減に努め、その効果はあったものの、技術系人材の獲得競争が激化している中、計画通りのテクノロジスト確保が厳しかったことによる売上高、売上総利益の減少が大きかったこと、及びグループ会社からの受取手数料が減少したことであります。

以上